



# 高輪だより

令和6年度4月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

## わくわくドキドキ夢いっぱい

園長 佐藤幸子

春は、芽吹き季節です。高輪幼稚園の楓や柿の木などの木々には新しい葉っぱが芽吹き、あふれる生命力を感じてこちらも元気になります。子どもたちが植えた菜の花やチューリップも今か今かとみんなが幼稚園に来るのを待っていました。いよいよ令和6年度がスタートします。進級児の皆さんは、春休みが終わって幼稚園が始まるのを心待ちにしていたことでしょうか。新入園児の皆さんも、準備を進めながら、いよいよ幼稚園とドキドキわくわくしてきたのではないのでしょうか。

幼稚園では、先生たちが、始業式、入園式で子どもたちや保護者の方々との出会いをいろいろと想像しながら、保育室や園庭の準備をしてきました。高輪幼稚園では「わくわくぼかぼかみんな笑顔の高輪幼稚園」という言葉通り子どもたちが「おもしろそう」「やってみよう」と心を躍らせ、人との関わりで心がぼかぼかと温まるような、そして、子どもも保護者も教職員もみんなが笑顔の楽しい園生活を創っていきたいと思います。主役は、子どもたち、保護者の皆様方、そして地域の皆さんや教職員一人ひとりです。

さて、高輪台小学校の屋上には「祝 開校90周年」という看板が飾られています。私を含めて、それを見て「ああ、小学校は90周年なのだ」と思う方も少なくないのではないのでしょうか。実は、これは、令和5年度のマイスクールPRコンペティションという港区の取り組みで、6年生が「自分たちは来年の周年行事にはないけれども、学校のために何かしたい」ということで、みんなで考えて区に提案したことが形になったものです。子どもたちにとって、自分たちが考えて企画したことが現実のものとなるという経験は、きっと心に刻まれて大人になってからも「何かあったら考えて、行動して実現する」という社会を作り出すことに生きてくることでしょうか。園生活の中でも、子どもたちの「こんなことがしたい」という思いに寄り添い、「やったらできた」という体験を重ねられるようにしていきたいと思います。

今年度から、港区の国際理解教育の推進の一環としてネイティブティーチャーが月木金の週に3日 在園します。また、配達弁当も始まります。子どものためにみんなで考えを出し合い協力してよいもの にしていきたいと思います。子どもたちが安心して楽しい園生活を送れるように教職員みんなで、努力してまいりますので、今年度も本園の教育にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

